

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 大学病院救急外来で医療福祉支援部門が介入した症例の記述研究
	●研究の対象 2025年10月から2026年2月までの期間に、浜松医科大学医学部附属病院救急外来を受診した患者のうち、入院を前提とした退院支援以外の目的で医療福祉支援センターの介入を受けられた方 25名程度
	●研究の目的 近年、我が国の救急外来（Emergency Department: ED）では、従来の急性期医療の提供に加え、複雑な心理・社会背景を抱えた方への対応が増加しており、身体的治療と同時に社会的調整が必要となる場合があります。このような背景において、医療ソーシャルワーカー（Medical Social Worker: MSW）が救急医療チームの一員として身体治療と並行した患者支援を行うことは重要です。しかし、我が国のEDでの入院前患者に対するMSW介入の実態に関する報告・研究は不十分であります。そこで、本研究は、浜松医科大学医学部附属病院のEDで医療福祉支援センターの介入を受けた方の背景や医療内容、介入目的・内容・課題、転帰を記述し、我が国のEDでの医療福祉支援部門介入の現状把握および課題同定につなげることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：患者背景や受診内容、医療福祉支援センター介入の目的・内容・課題、転帰 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 責任者名：本田優希
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 地域家庭医療学講座 担当者： 本田優希 TEL： 053-435-2416 E-mail： yhonda3@hama-med.ac.jp